

地域ぐるみで水田農業確立	2～3
奥州合戦八百年祭決算報告	4
ふるさとの文化財	5
おしらせ	6～7
公民館だより	8～9
わだい	10



徳江南部

おお ふく でん こう 大福伝講

'90 3月

安政2年(1855)から徳江南部に伝わる大福伝講(佐野正治保存会々長)が、2月24日から25日にかけて徳江南部公民館で行われました。

この大福伝講は地区の有志が集まり、夜通し酒を酌み交わしながら五穀豊じょう、無病息災を祈願し、地域の親ばくをはかるために、約130年も昔から伝わる伝統行事で、今年は約70人が参加しました。

25日は、午前6時から7うすのもちをつき、集まった子どもたちにも配られました。

水田農業確立 後期対策



昭和六十二年度から行われてきた水田農業確立前期対策が終了し、平成二年度から後期対策に移行することになりました。

前期対策では、米と転作物の効率的な生産、地域条件を生かした多様な水田農業の展開など、水田の有効活用をめざした取り組みがなされてきました。しかし、米の需給動向は依然として生産力が需要を上回っている状況にあり、需要に見合った米の計画的生産と水田農業の確立が迫られています。

後期対策は、前期対策の経験及び実績とその理念を継承発展させるという観点から「生産者・生産者団体の主体的取り組み」を基礎として進めることとされています。

平成2年度配分率は

26.0%

二月五日、福島国見町農協会館で「国見町水田農業確立対策推進協議会」が開かれ、平成二

年度の「水田農業確立対策」の取り組み方針が決まりました。転作物目標面積は、米の需給均衡を図ることを基本に、行政と生産者団体の共同責任によって農業者別の配分を決定し、通知することとされています。

後期対策における転作物等目標面積は、全国で八十三万公頃、国見町には前年比プラス四・八公頃の百五十六公頃（内他用途利用米として十萬七千七百六十公頃）面積に換算して約二〇・四公頃が配分されました。

配分された面積をもとに転作物率を算出した結果、平成二年度の配分率は二六・〇％（採種ほ場は二三・六公頃）という配分になります。

助 成 金 額 一 覧

区 分	基本額	単価(千円/10%)		計	町 加 算 額
		加 算 額	地域営		
		生産性向	農加算		
		上等加算			
一 般 作 物 (麦、大豆、飼料作物、 地力増進作物、花き等)	15	A : 26 B : 20	10	51 (最高) 14 (最低)	生産性向上等加算 に該当しない場合 15
永 年 性 作 物 等 (果樹、転換畑、 林地、養魚池等)	20	C : 10		56 (最高) 19 (最低)	(1公頃以上の団地) 10 (50%～1公頃以上の団地)
特 例 作 物 (野菜、たばこ等)	4	B : 5 C : 5		19 (最高) 4 (最低)	5 (20%～50%以上の団地)
水 田 預 託 (保全管理)	4			4	

注：A＝高能率生産単位育成加算 B＝3公頃以上の団地等加算 C＝1公頃以上の団地等加算
◎永年性作物等及び水田預託については、交付期間が限定されます。

集団転作に有利な 加算重視の助成金

後期対策では、地域輪作農法の定着と合理的な土地利用を進め、望ましい営農に誘導するため、助成金体系の見直しを図られ、加算を重視する体系が導入されました。

このため基本額が十ア当たり四千円、九千円減額されるもの、現行加算体系の基本は維持しつつ、地域輪作農法の一層の展開・定着を図るという観点から、生産性向上等加算に高能率



地域ぐるみで 水田農業確立

生産単位育成加算という高単価の加算制度が創設されました。また、地域営農加算においては、野菜などの特例作物が五千円増の一万円になりました。

このため、地域（転作組合）における集团的・組織的な営農・転作の取り組みに対し、より一層有利な助成金体系となりました。（助成金額一覧参照）

今回の助成金体系の見直しを

町単独の助成金も継続

町では、高単価の転作を乗り切るためには、集団転作にしかその打開策がないと判断し、町単独の助成金制度を実施してきました。

この制度は、生産者の皆さん

転作の手法が多様化されました

後期対策では、前期対策で認められなかった作物を転作の対象とするなど、取り組みの手法が広がりました。

新たに転作対象作物になるのは「景観形成作物」と「レクリエーション農園」です。この二つは前期対策で、市街化区域、

水田農業を守る他用途利用米

他用途利用米は、全国で五十万トンの生産が見込まれています。

機に、一層、地域営農集団を核とした組織的・集团的な取り組みを強化することが必要となっています。

※高単価生産単位育成加算

転作を含めおおむね十割の水田で、転作が団地化され、主な作業が生産組織または中核農家によって行われていることが要件となります。

に、より有利な転作を進めている。ただために創られたもの。すなわち、助成金の内容は助成金額一覧の町加算額欄に記載のとおりです。

ました。

他用途利用米は、加工米の輸入を阻止するために、生産者の皆さんの代表組織である全国農協中央会などが加工業者との間で納入契約をした数量ですので、必ず出荷しなければなりません。

地域ぐるみで

転作に取り組みましょう

約四分の一強の水田を転作しなければならぬ水田農業確立対策。

しかし、水田農業を守り発展させるには避けて通ることのないものです。転作組合で話し合ひを行い、地域ぐるみの米作りと転作を進めましょう。

し、他用途利用米が自由化を要求する外庄から日本の主食を、水田農業を守ると言っても過言ではありません。配分を受けた数量は必ず出荷しましょう。なお、個人間における受委託などによる調整は可能です。

■役場産業課産業係
☎852111内線233

平成二年度

転作等目標面積配分基本方針

- 1 当町に配分された転作等目標面積を水田保有者（小作を含む）全世帯に、別に定める率により一律配分する。
- 2 他用途利用米生産量の配分は、転作組合ごとに配分し、組合内達成を基本とする。
- 3 過去の転作実績を考慮する。
- 4 配分面積以上の転作を実施している農家については、継続して転作を維持するよう協力を依頼する。
- 5 政府先渡限度数量の配分は、転作計画及び実績を考慮した配分とする。
- 6 水田農業確立対策の早期定着推進のため、当該年度の転作配分面積が達成されない世帯については、達成されない面積について、次年度に上乗せして配分する。
- 7 転作の受委託を契約する際の受委託料金は、町内一円十割当たり四三、〇〇〇円とし、受委託契約書を提出する。
- 8 転作目標面積未達成者には、良質米奨励金は交付されない。
- 9 休耕は奨励金が交付されないだけでなく、転作の実績にも認められない。

奥州合戦八百年祭決算報告

ご協力ありがとうございました

協賛金総額 6,608,000円
(うち各町内会より 2,859,000円)

(収入の部)		(円)		
科目	部門	武行列	記念碑	他 (史跡整備、記念誌、文化祭、広報)
協賛金		5,108,000	1,500,000	
歩行者天国売上金		334,670		
町事業費		1,000,000	600,000	10,400,000
計		6,442,670	2,100,000	10,400,000

国見町あつかし山奥州合戦八百年祭事業に際し、広く町民の皆様より実行委員会に対し、ご協力・ご援助をいただき、誠にありがとうございました。お陰様ですべての部門の事業が予定どおりを実施することができました。

皆様からの協賛金の使途であります。実行委員会の中の六部門のうち、武行列部門と記念碑部門の二部門に充当し、町補助金と合わせて事業を実施し

(支出の部)			(円)		
一武行列部門一			一記念碑部門一		
月日	事業名	金額	月日	事業名	金額
8月19日(日)	ナイトウォークラリー (慰霊祭) 藤田小〜厚樫山	69,036	10月26日(木)	記念碑仮建立 役場駐車場 碑文「追憶の碑」 吾妻鏡の一節を刻む	1,781,000
10月21日(土)	武行列事前P R 福島駅前歩行者天国	234,010			
10月29日(日)	義経まつり 武行列、 歩行者天国	5,894,353			
計		6,197,399			
残 金		245,271	残 金		319,000

※記念碑部門の残金は厚樫山頂への移転費用と除幕式費用に充て、その他の残金は今後の町活性化のための資金とします。

春の全国交通安全運動

4月6日～4月15日

三月から四月にかけては、時節柄、進学や就職、人事異動などで人の動きが活発になります。

故が多発しています。

この運動の目的は、県民に交通安全思想の高揚を図りながら、

通学、通園時間に合わせて、

交通ルールとマナーを習慣づけることにより、交通事故防止の

一緒に通学(園)路を何回か歩いて、信号機の見方、横断歩道の正しい渡り方などを指導し習慣づけることです。

徹底を図ることです。

そして、子供の目の高さで見える危険な場所を具体的に教え、

運動の目標は、

そうした場所での安全な渡り方などを教えてみてはいかがですか。

(1)子供と高齢者の歩行中の事故防止

「しっかりとしよう」

(2)青少年ドライバーの無謀運転の防止

死者が二五〇人を突破した昨

(3)シートベルト・ヘルメットの着用の徹底

死者は七五人。このうちシート

(4)夜間の交通事故防止

ベルトをしていれば助かったと思

の以上四点を重点目標として掲げ展開されます。

セメントにもあたりました。

〔新入学児を交通事故から守ろう〕

あなたの生命とあなたの家族の幸福のためにシートベルトをお忘れな。

新しい制服やランドセルもそろって、入学、入園が間もなく

となったこの時期、ご両親をはじめ、ご家族の方も子供さんの

うれしそうな様子を見ると、つい自分も一緒にうれしくなるの

は、誰でも同じではないでしょうか。

残念なことです、毎年この

時期に新入学児が犠牲になる事

うか。

お忘れな。

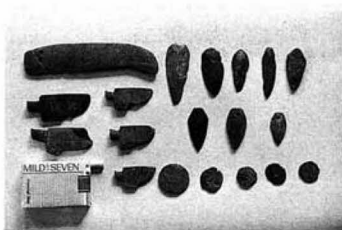


ふるさとの文化財

⑦

塚野目矢ノ目遺跡

菊池利雄



▲石製模造品

保存のため発掘調査を行ったところ、東西約三メートル、南北約三メートルというく限られた場所から、甕、埴、高杯、杯などの土師器類や、剣形をした刀子・勾玉や鏡をかたどったと思われる（複製）三日月玉類など、滑石製の石製模造品が多量に出土し、これらの遺物は五世紀後半頃の古墳時代中期に、当時の人々が祭祀に使用したものといわれる。

弥生時代以降、日本の宗教（原始神道）は稲作りの農耕儀礼を基本に展開したといわれ、それに続く古墳時代の祭祀も前代からのものが引き継がれ、集落の農耕生産と生活の維持繁栄を念じて、神々の霊が宿ると信じられていた山岳、岩石、水、樹木などの自然物を対象とした祭祀が行われていた。

祭にあたっては、一定または臨時に聖域を定めて、マツリノ二ハと呼びサカキなどの樹木を招代とし、神々を招き降ろした。この樹木は神籬と呼ばれ鏡などの祭器をかけ、その前面には土器（埴・高杯・杯など）に神饌をささげ、玉類・金属製の宝器などを幣帛として供進され、祭司（高僧）は祝詞をささげて、神の加護を祈った。祭は終わるとすべての祭具は降かれたりして、聖域に埋められたといわれる。

矢ノ目遺跡は塚野目古墳の主墳とされる塚野目第一号墳（塚野目古墳群）の西方約四五メートル、普蔵川の支流矢ノ目川によって開折された、谷底平地（標高五六メートル）に位置し、昭和五十二年十月、県営圃場整備事業の工事中に偶然、地下二〇センチの浅い所で発見された遺構である。

福島県教育委員会では、記録

聖域に埋められたといわれる。

矢ノ目遺跡やこの川の下流、普蔵川沿いに位置する反畑遺跡からも石製模造品が出土しており、祭祀遺跡とみることができ、いずれも川沿いの低地に位置し、水上の半田山が信仰の対象となつたとみられ、祭祀が終わった段階で埋められたものであろう。石製模造品は、祭祀遺跡のほか古墳の副葬品として出土する場合がある。反畑遺跡など祭祀遺跡から出土するものは、滑石製の小形品に限られており、器物の形には関係がなく小さな穴が穿かれていて、紐でつり下げられるようになっている。それが祭祀の庭になられる神籬の枝などに、飾りつけて使用されたものと思われるが、勾玉類、鏡や剣など金属製品は当時としては貴重なものであり、一回限りの祭祀に使用して捨て去るには忍びがたくなり、軟らかで細工のしやすい滑石製の模造品を作製して、これに替え使用されたものと思われる。

参考文献

『国見町史』第一巻、「伊達西部地区遺跡発掘調査報告」「日本宗教事典」村上重良、平凡社「世界大百科事典」

国民年金

納め忘れは

ありませんか

国民年金は、あなたの老後を保障する大切な制度です。

保険料を納め忘れてしまうと、万一事故があったとき、障害基礎年金などの年金が受けられないことがあります。

平成元年度保険料未納の方は、年度内納付に心がけましょう。平成二年度保険料が次のとおり改定されました。

種別	月額	年額
定額	八四〇〇円	一〇〇八〇〇円
定額＋付加	八八〇〇円	一〇五六〇〇円

保険料は期限までに

平成二年度保険料の納入期日は、次のとおりです。期限まで忘れずに納めましょう。

月分	納入期	期限
4	4月	16日
5	5月	15日
6	6月	15日
7	7月	16日
8	8月	15日
9	9月	17日
10	10月	15日
11	11月	15日
12	12月	5日
1	1月	16日
2	2月	15日
3	3月	4日

割引前納のおすすめ

国民年金保険料の納付には、前納（一年分をまとめて納付する）制度があり、割引率は年五

五%の複利現価法によって計算されるたいへん有利な制度です。前納できる期間は、平成二年四月二日から四月二十七日までです。

●定額前納額
九八、三七〇円

●定額＋付加前納額
一〇三、〇五〇円

ぜひ、割引前納をご活用ください。

保険料の免除制度

国民年金の保険料の納付が困難なときは、免除を受けることができます。

保険料を納付しなければならぬ方のいる世帯の所得が低く生活が苦しい、病気をした、災害や事故にあったなど事情のある方は、印鑑を持参のうえ住民課年金係までご相談ください。

ただし、保険料の免除を受けた場合は、年金を受ける権利は保障されますが、免除を受けていた期間についての年金額は、減額されることになります。

また、将来、経済的な余裕ができたときには、十年以内の免除期間についての保険料を追納することがあります。

■問い合わせ先

役場住民課年金係
☎852111、内線135



「ハローワーク」って 呼んで!!

公共職業安定所

現在、公共職業安定所では、安定所を利用される方々へのサービス向上のため「さわやか安定所サービス運動」を展開していますが、労働省では今後さらに公共職業安定所が地域に根ざした機関として発展し、地域の方々に一層親しまれる存在となることを目指して、公共職業安定所の愛称を募集してきました。その結果、全国から多くの作品の応募があり、選考の結果「ハローワーク」と決まりました。

これからは、公共職業安定所を「ハローワーク」と呼んでください。

公共職業安定所では、より一層親しんでいただけるよう、サービスの向上に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

ごみ収集が 一部変更になります

布団・カーペット類は
粗大ごみへ

従来、ふとんやカーペット類は、座ぶとんに切断して燃えるごみとして収集していましたが、平成2年度から粗大ごみとして月一回(毎月第一月曜日)の収集になります。切断は不要です。他の粗大ごみと同様事前に保健課へご連絡ください。営業ごみは
出さないで

最近、一般ごみの中に「営業ごみ」が混入するようになりまし

た。ご存知のように事業活動において生じるごみは、各事業主の責任で適切な処理をすることになっていきますので、なお一層のご協力をお願いします。

保健課

☎052111内線141

救急車は 正しく利用しましょう

近年、消防業務も複雑多様化し、救急出場も年々増加の傾向にあります。その中で、傷病者の搬送先機関をみた場合、昨年は全体の七〇・三％にあたる、一五二二人が管内医療機関へ、二九・七％にあたる六四三人が管

外医療機関への搬送となっております。

また、搬送先医療機関の選定についてみた場合、全搬送傷病者の四六・七％にあたる、一〇二二人が傷病者などからの依頼による搬送であり、四三・六％にあたる九四四人が、救急隊の判断により適切な処置のできる医療機関を選択し搬送したものです。

救急業務は、緊急性のある傷病者を、救急隊が傷病程度によってその症状にあった医療機関を選定し、救命率を高めながらいち早く搬送することです。

▼平成元年の救急出動件数
二、一七九件

▼平成元年の搬送人員
二、一六五人

搬送形態	管内	管外
東浜からの依頼による搬送	七四人	二八八人
救急隊の判断による搬送	七三三人	二二一人
経院(医療機関)医療機関	六五人	一四四人

①医療機関への搬送にあたっては、救急隊の指示に従ってください。

②傷病者は、急を要していますので、最寄りの医療機関へ搬送し手当てをすることが重要なポイントです。

※なお、症状や医療機関の収容可否状況によっては、管外へ搬送することもあります。

伊達地方消防組合

募集

第50回国民体育大会 テーマ・スローガン

第50回国民体育大会が平成7年に福島県で開催されます。

県民総参加のため、みんなに親しまれ、しかも福島県にふさわしい「テーマ」と「スローガン」を募集します。奮って応募ください。

▼募集作品

テーマ：福島県の風土や文化などを端的に表現し、第50回国民体育大会の「愛称」としてふさわしいもの
スローガン：この大会の主旨や希望などを簡潔に表現し、第50回国民体育大会の「合言葉」としてふさわしいもの

▼応募資格

特に制限はありません

▼応募方法

①官製はがき一枚につき、「テーマ」または「スローガン」いずれか一点を横書きとし、意味について簡単な説明をつけてください

(2)氏名、性別、年齢、職業(学校名、学年)、住所、電話番号を必ず「記入ください」

○一人何点でも応募できます

○作品は、はっきりわかるようにお書きください

○作品は、自作で未発表のものに限ります

▼応募期間

平成2年4月16日(土)まで

6月15日

当日消印有効

▼送付先、問い合わせ先
〒900福島市杉妻町5番75号
福島県国体準備局

あわただしい引越し 電気のこともお忘れなく

引越しの日取が決まりましたら、五日前までに東北電力(福島営業所)または桑折サービスセンターへご連絡ください。

▼桑折サービスセンター
☎02033

公営住宅入居者を募集

滝山地区に新築した四戸の公営住宅の入居者を募集しています。詳しい内容については、回覧をご覧ください。

申し込み締め切り：3月28日(木)

▼申し込み・問い合わせ
建設課建設係

☎052111、内線243

戸籍の窓口

(2月受付分)

出生おめでとうございます

子の名 保護者 町内会
宏 (ひろし) 仲野 芳晴 泉田 中

結婚おめでとうございます

氏 名 町内会
佐藤 浩治 二市
佐藤 嘉代 島市
阿部 里久 町東
木田 正裕 内中
武田 朋子 田中
鈴木 正巳 泉
渡邊 雅子 田中
半澤 雅子 田中

おくやみ申し上げます

氏 名 年齢 町内会
武田 テツ 83 前南
小西 長三郎 87 町三
藤 幸平 60 第東
鈴 清雄 65 貝田
内 村忠助 78 町谷
熊 坂善七 85 内東
佐 藤ヒサエ 66 第三
名 ナチ 79 宮北
本 多チ 87 江二
佐 藤昭 53 第

火の用心七つのポイント
1 寝たばこや、たばこの投げ捨てをしない。
2 子どもには、マッチやライターで遊ばせない。
3 風の強いときは、たき火をしない。
4 天ぶらを揚げるときは、その場を離れない。
5 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
6 ふろの空だきをしない。
7 ストープのまわりには、燃えやすいものを置かない。
※枯れ草、せん定枝の焼却など、たき火をするときは、事前連絡をお願いします。
●伊達地方消防組合西分署 ☎023190

NHK学園の通信講座で学習を

NHK学園では、生涯学習講座の春の受講生と高等学校の生徒を募集しています。
▼生涯学習講座(通信講座) 教養と趣味を深めるための書

道、硬筆、俳句、短歌、開基など六十七講座です。
▼受付：二月一日～四月三十日
▼高等学校普通科コース(通信教育)
▼希望科目を学習して、単位が取得できます。
▼受付：二月一日～四月十五日
▼高等学校専攻科社会福祉コース(コミュニティ・スクール)
二年間の学習で「NHK学園福祉ボランティア」の認定資格が得られます。
▼受付：二月一日～四月五日
▼詳しい案内書をご希望の方は、
〒一八六〇一〇一 東京都国立市富士見台二一三六 NHK学園八

人口と世帯

3月1日現在(前月比)2月中のうごき

人 男 5,738人 (←3) 転入 10人
女 6,213人 (←5) 転出 9人
口 計 11,951人 (←8) 出生 1人
世帯数 2,936戸 (←1) 死亡 10人

■申請、問い合わせ先
役場住民課福祉係
☎0522111内線133

後継者結婚媒酌人に報償金を交付

町では、昭和六十年度内の後継者対策事業として、町内の後継者(両親など)と引き続き同居し、世帯を継ぐ方)に対して結婚の媒酌をされた方に報償金を交付しています。
この報償金を受けるには、媒酌人の方の申請が必要となりますので、婚姻届をしたら早めに申請してください。

E十一係に、講座名かコース名およびあなたの郵便番号、住所氏名、電話番号をハガキに記入してご請求ください。
☎0425723151

心配ごと相談日

場所：役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)

時間：9時～12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

(相談員)

3月23日(金) 村上 金正・築瀬 貞子
4月5日(木) 桜沢 正・高野 時子
4月13日(金) 松浦 輝夫・高橋 恵子

2 よ み

3月 弥生(やよい)

4月 卯月(うづき)

18日(日) 彼岸入り

6日(金) 各小学校入学式

21日(水) 春分の日

県北中学校入学式

23日(金) 世界気象デー

春の全国交通安全運動

25日(日) 電気記念日

8日(日) 花まつり

10日(火) 婦人週間



国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

成人学級閉講

昨年五月二十五日に閉講した成人学級の閉講式が、去る二月二十一日、二十五名が出席して行われました。

閉講式の前に町教育委員会委員長の佐藤利雄先生から「地域社会と成人学習」について大へん有意義な話をうかがいました。

今年度は十三回の学習会を実施しましたが、昨年度以上に多数の学級生が受講され、開設の目的を果たすことができました。閉講式後、反省会を行いました。



▲成人学級閉講式

阿津賀志学級閉講

昨年度は、更に必要課題と学級生の学習計画を立て閉講したいと思っています。多数のご参加をお願いいたします。

昨年四月二十八日に閉講した阿津賀志学級の閉講式と交通安全大学修了式が、去る二月二十三日、百四十八名が出席して行



▲阿津賀志学級閉講式

われました。

式では、教育長挨拶の後、公民館長より、佐藤誠六さん外四名の方に皆勤賞、佐藤イコさん外二十一名の方に精勤賞が授与されました。続いて富永町長より村上新吉さん外百十四名の方に交通安全大学修了証が授与されました。

その後、学習状況報告、町長、桑折警察署長の祝辞、藤田学級委員長の前謝辞がありました。

今年度は、十五回の全体学習会や、趣味のグループ学習(園芸、書道、手芸、ゲートボール、社交ダンス)を二十六回実施しました。特に趣味のグループ学習には延六百十五人が参加者を見ました。交通安全のグルー

プ学習には延六百十五人が参加し、活発な学習が展開されました。

婦人学級に参加して

安田 節子

婦人学級の閉講式が二月二十一日、佐藤利雄先生の「婦人教育と地域作り」という講演と合わせて行われました。

一年間の婦人学級を思い返しますと、楽しかったの一言です。

作る楽しさを学ぶバッチワーク、手編みのセーター作り、料理教室、異政と議会見学、奥州藤原氏と郷土の史跡めぐり、家庭看護、婦人病の予防と早期発見など盛りだくさん。地域の婦人学級と合同で行った研修旅行も、回を重ねるごとに交流の輪も生まれ、これからも続けて欲しいものです。

佐藤利雄先生の講演は世界の動きと、婦人も国際社会においてどうしなければならぬかと考える時代になってきている。年とともに心も体も衰える、その中でだれもいない人は寂しい。ボランティアで心温かい人間関係を作る、というお話でした。

「子育て終わったら、自分育て」と言われ、二回育てるチャンスがあるのだそうです。

婦人学級は、自分たちで考え活動することをモットーに学習しています。気負わないで自分の学びたいものを選んで参加しても、十分意義のある学級だと思っています。学習を通じて温かい人間関係、幅広い人間関係を学べる事をとてもうれしく思っています。

わたしは、スキーをやるのが初めてでした。このスキー教室には、前から参加したいと思っていたのですが、家の都合で、なかなか参加することができませんでした。

当日の朝は、風も強く、あまりいい天気ではありませんでした。わたしは、すべれるのかどうかという期待と不安でいっぱいでした。スキー場には、高速道路を利用したので、思ったよりも早く着きました。わたしは予想どおり、すべるよりも早く転んでしまいました。しかし、少しずつ練習していくにつれてほんの少しですが、すべれるようになっていきました。

初めのうちは、上のほうからすべってくるなど考えられませんでした。でも、少しずつ上から下へ、ロープを使って上まで登り、そこから何度か転びながらゆっくりすり下りることができるようになりました。なんとなく、上のほうからすべると、きょうりが長くなったせいか、気持ちよく下りてきたような気がしました。

とても楽しいスキー教室でした。またなにか機会があれば、今度はもっと上手にすべりたいです。

親子スキー教室に参加して

加藤奈緒美

加藤奈緒美

婦人の学習活動 専門講座に参加して

福島県婦人教育指導員
亀岡 ツヤ



一月二十三日から三泊四日の日程で、埼玉県の国立婦人教育会館で開催されました婦人の学習活動専門講座に参加させていただきました。目的は婦人の学習活動の充実をはかるために、婦人教育の当面する課題について国立婦人教育会館の研修及び調査研究の過程で明らかにされた事項を中心に、専門的な講義及び討議による研修が実施されました。

さまざまな学習の中から、私の一番興味があり印象に残った一部をあげてみたいと思います。「婦人の能力開発」のテーマから、とりわけ社会参加に必要な基礎能力を向上させることについて考えてみたいと思います。「先ず自分自身を知る」さまざまな学習を通して「自分が考えている自分について」「自己確認をする」とともに、同じ作業をし

た他者との比較、照合によって自己理解を深めること、自分の好きなこと、望みなどについて自己点検をすることによって、より実りある豊かな生き方へのきっかけを作ること。価値を含んだ判断をし、それを他者と比較することによって自分の好み、価値観を見直すこと、他者の価値観や物事の判断の仕方の違いに気づくことなどがあります。

また種々の点検によって、自分の行動傾向や対人関係のパターンを知ることできます。こうして自分自身をみつめ、自分をより客観的に知ることが社会参加のための第一歩だということです。

一般に主婦には過剰な「家庭役割優先主義」また「性別役割分業意識」があるという指摘があります。特に、日本の女性は自責の念が強いと指摘する声があります。つまり自分のおかれた不本意な状況を、すべて自分に原因があると考えるということです。しかし、必ずしもすべて自分に原因があるわけではなく、社会通念など社会的な原因に気づかないと、自信回復ができません。そしてキーワードは、自分にとって何が重要な価値なのかを見極める感覚を鍛えることだと思います。

楽しかったスキー教室

小川 恵見

天元台スキー場は、西吾妻山直下の標高一三〇〇～一六〇〇メートルにある積雪、雪質とも申し分のないスキー場です。

ふもとは白布高湯温泉があり、あたたい湯けむりをあけています。

三月四日は公民館主催のスキー教室が、この天元台スキー場で四十名の愛好者が参加して開かれました。

今冬は希にみる暖冬で各スキー場は雪不足のため悲鳴をあげています。途中の「栗子」は地肌をのぞかせ「米沢」は青草が見えるといった状況です。そのため積雪を誇る天元台にスキーヤーが集中し駐車場は満杯いで朝六時出発のスキーバスも路上駐車車の車のそばを通りぬけ、やつの思いで到着しました。

スキー場は三月とはいえ雪が多少少なくな、アイスパーンもあつたのですが全面滑降が可能で今冬の様子としては最高でした。午前中は国見町スキークラブの斎藤、村上、黒田、八巻の各コーチのもとで基本技能を習得しました。午後はそれぞれのグループごとに頂上からのダウン

ヒルを十分に楽しみました。

ロープウェイ乗り場の集合地に午後三時に全員集合し帰途につきました。

冬山の厳しさとしを吸収し、それぞれの技能に応じて出来るスキーは、本当に楽しく健康的なスポーツだと思います。

次の機会には皆さんもぜひ参加してみませんか。

会員募集

くみバウンデニスクラブ

若い人から中高年まで体力維持、運動不足を解消するために最適な、バウンデニスクラブの会員を募集します。室内運動ですから天候に関係なく練習できます。

一、会員は町内在住かつ町内に勤務している成人男女
二、体力維持と親睦をはかることが目的
三、練習日

①昼の部：毎週火・金曜日

午前九時～十二時

町民体育館

②夜の部：毎週火曜日

午後七時半～九時

森江野町民体育館

会費

スポーツ障害保険料を含んで
二、一〇〇円

その他

ラケットなどはクラブで斡施いたします。競技内容も種々あります。徐々に町内会対抗が行えればと思います。

■申し込み先

(会長) 佐々木 治郎

☎ 852511

平成2年3月 公民館及び体育館関係等行事予定表

月	日	曜日	午 後	夜	間
3	15	木	母と子の公民館活動 14:00～ 大枝小学校	青年学級閉講式	19:30～
	16	金	成人学級委員会 13:30～ 母と子の公民館運営委員会 15:30～		
	17	土	料理教室閉講式 13:30～		
	27	火	社会教育委員会 公民館運営審議会 文化財保護委員会	合同会議 15:00～	



▲ドライバーに季節の贈り物

**季節の贈り物に
ドライバー大よろこび**
三月三日の桃の節句を前にした二月二十八日と三月一日の両日、東北自動車道国見料金所で、料金所職員の安藤恵子さん、高野光子さん、町職員の佐藤敦子さんの三人が、料金所を通過するドライバーに「桃の花束」をプレゼントし、町特産の桃をPRするとともに、安全運転を呼



びかけました。

この桃の花プレゼントは日本道路公団、国見料金所、県警高速隊福島分中隊と町が協力し企画されたもので、国見料金所の職員の皆さんが事務所裏の温室で丹精込めて育て、今にも開花しそうにつぼみが大きく膨らんだもので、二日間で二百五十束をプレゼントしました。

冷たい風が吹く中、桃の花束をプレゼントされたドライバーの皆さんは、思いがけない「季節の贈り物」に大よろこびしていました。

健康講演会

開催される

町と国見町健康づくり推進協議会が主催する「健康講演会」



▲健康講演会

が二月二十日、町福祉センター講堂で開催されました。

公立藤田総合病院副院長の朽木渉先生を迎え、「がんの予防」についての講義があり、スлайドを使ったわかりやすい説明に、参加された百四名の町民の方々は熱心に耳を傾け、がん予防に対する知識を一層深めようと真剣に学んでいました。

二重堀保存管理計画の策定進む

町教育委員会では現在、奥州合戦八百年祭を記念して、阿津賀志山防塁（二重堀）の将来にわたる保存管理と整備の方向性を定めるため、保存管理計画の策定を進めています。

この計画の策定にあたり策定



▲防壁保存管理計画策定委員会

委員会を組織し、町及び地元関係者と歴史研究者の方々に委員を委嘱しています。特に専門委員としては東京大学教授の石井進先生をはじめ、東北学院大学教授の小林清治先生、大石直正先生、東北大学教授の入間田宣夫先生ほか日本の歴史研究を代表する先生方に専門分野からご意見をいただいています。

昨年九月四日第一回策定委員会を開催し、十二月二十二日には現地調査会を実施しました。そして、今年一月三十日に第二回委員会を開催し、文化庁服部調査官のご指導をいただき、具体的な計画の策定について協議しました。

この保存管理計画は、平成三年度に策定を完了する予定ですが、町のシンボルである阿津賀志山を全国にPRしていくためにも、計画の策定について町民の皆さんのご理解と協力をお願いいたします。

国見町に表彰状

市町村別

交通安全防止コンクール

国見町は、平成元年を通じて適切な交通事故防止対策を推進し、

事故防止に努めた実績が認められ、県内Bグループ（人口一万人以上三万人未満）第四位として表彰され、二月二十三日に開かれた県交通対策協議会の席上、その受賞式が行われました。

目黒秀雄ハーモニカ演奏会開催

ハーモニカ人生50年。国内はもとより、海外でも幅広くボランティアとして活躍。すばらしいハーモニカの音色をお聞かせください。

日時 平成2年4月10日（火）

午後1時30分～4時40分

会場 国見町民体育館

入場料 無料

主催 異国の丘思い出の会

全国抑留者補償協議会国見支部

後援 国見町・国見町教育委員会

編集日記

○原稿締め切り開巻の机の上は、乱雑。来月号こそは余裕をもって……と思うけど、なかなかできずに同じことの繰り返し。この編集日記を書き終えて、ほっとひと息。○今年も雪の少ない冬でした。私が子どもの頃は、長靴がすっかり隠れるほどに雪が降ったのに、今では雪合戦も雪だるま作りもできなくなってしまうかもしれません。これも地球温暖化のあらわれなのでしょう。K

発行・編集 国見町企画課 福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二の1

九九六九一一七

（〇一四五）八五二二一（代表）